

平成20年度 石川県立七尾養護学校珠洲分校 学校評価（中間評価）

【中・長期目標】 保護者及び地域の連携をもとに、将来を見据えた指導の充実を図る。

重点目標	具体的取組	主担当	実現状況の達成度判断基準	集計結果	成果と今後の課題	中間評価
① 地域との結びつきをめざした緊急時対応マニュアルの作成と運用	① 緊急時対応マニュアルの見直しと整備を行い、搜索訓練を実施する。また学校周辺地区向けのマニュアルも作成し、配布と緊急時の搜索活動の依頼を行う。	生徒指導課	新たな緊急時対応マニュアルに基づいた搜索訓練を A：3回以上実施した。 B：2回実施した。 C：1回実施した。 D：実施できなかった。	緊急対応マニュアルに基づいた搜索訓練を2回実施した。 第1回 4月 7日 第2回 7月18日	1回目と2回目は、搜索場所を変えて行った。それにより、前年度までの訓練範囲を遙かに超えた危険箇所などを確認することができた。次回11月中を計画しているが、その際に、学校周辺の区長宛に、緊急時における協力をあおぐ場合もあるという地区向けのマニュアルも作成したい。	B
② 地域の資源を活用した計画的な教育活動の展開	① 高等部作業学習や総合的な学習の時間などで、地域をフィールドとした学習を展開し、地域の中で本校に対する理解者を増やせるような指導計画や指導形態、支援方法を探求する。	高等部	地域における学習活動に関して、地域の方々は A：十分満足できた。 B：おおむね満足できた。 C：あまり満足できなかった。 D：ほとんど満足できなかった。	未実施	中・高等部の生徒が柿収穫作業を11月5日（水）に実施する予定である。また、収穫した柿をアルコール処理し、交流校や県内の養護学校、珠洲消防署などに寄贈する予定である。3学期には、珠洲市の高齢者施設や保育所等で絵本の読み聞かせやよきこいソーランの披露などをする予定である。	未実施のため 評価なし

【中・長期目標】 特別支援教育の地域におけるセンター的役割を果たすため、地域の学校や関係機関との関係づくりを推し進める。

重点目標	具体的取組	主担当	実現状況の達成度判断基準	集計結果	成果と今後の課題	中間評価
③ 特別支援学校としての教育相談事業の充実と精選	① 発達検査等も取り入れたアセスメントを実施し、その結果を活かして教育相談室での相談・支援体制を充実させる。	教育相談課	教育相談室での相談内容に満足する保護者の割合が A：9割以上である。 B：8割以上である。 C：6割以上である。 D：6割未満である。	アンケート調査の結果は以下のとおり A： 3（37.5%） B： 4（50.0%） C： 1（12.5%） D： 0（0%） A+Bの割合 87.5%	10月までに12ケースについて来校相談を実施した。定期的に相談室での教育相談を希望するケースが増えてきたので、アセスメントを実施し、その結果に基づいた支援計画の提案を行っている。この支援計画を、保育所や学校、医療機関等、本人を支える各機関と共有しながら活用する方法を検討している。	B
	② 医療、福祉、保育所、小・中・高等学校との連携を図り、専門相談活動の充実を図る。	教育相談課	専門相談員の相談内容に満足する相談者の割合が A：9割以上である。 B：8割以上である。 C：6割以上である。 D：6割未満である。	アンケート調査の結果は以下のとおり A：17（77.5%） B：4（18.2%） C：1（4.5%） D：0（0%） A+Bの割合 95.7%	10月までに27校（保育所、小学校、中学校、高等学校）への専門相談（49回）と巡回相談（10回）を行った。主な内容は、特別支援教育についての研修会講師、校内支援会議での助言、担任などへの助言である。後期はこれに加え、就学や進学に伴う連携支援会議を行う予定である。	A
	③ 関係機関と連携して会議や研修会を開催し、珠洲市・能登町における相談・支援体制を充実させる。	教育相談課	関係機関との連携会議が A：4回実施できた。 B：3回実施できた。 C：2回実施できた。 D：1回実施できた。	次の3回を計画し、第1回の連携会議を実施した。 第1回 10月30日 第2回 11月13日 第3回 2月上旬	次の3回を計画し、第1回の連携会議を実施した。第1回は小中学校職員、医療機関、行政機関、教育相談室による連携支援会議で9名の参加者があった。第2回は保育所職員、医療機関、行政機関、教育相談室による連携支援会議、第3回は医療機関、行政機関、教育相談室による連携支援会議を行う予定である。	D

④ 少人数を生かしたきめ細やかな指導と全校のつながりを生かした活動の工夫	① 珠洲市及び能登町にある小・中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒を本校に招き、音楽や体育などの授業において合同学習を実施する。	小・中学部	特別支援学級の児童生徒との合同学習を A：3回以上実施した。 B：2回実施した。 C：1回実施した。 D：実施できなかった。	合同学習を3回実施した。 第1回 9月10日 第2回 10月2日 第3回 10月7日	第1回は対象校12校の内、半数の6校の児童生徒が参加し、第2回は対象校9校の内、3校の児童生徒が参加し、第3回は対象校5校の内、2校の児童生徒が参加した。珠洲分校の地理的な条件もあり能登町からの参加が少ないが、学習内容を検討しながら継続して実施したい。	A
			合同学習に参加して A：十分満足できた。 B：おおむね満足できた。 C：あまり満足できなかった。 D：ほとんど満足できなかった。	合同学習を3回実施し、アンケート結果は A：70% B：30% C：0% D：0%	アンケート結果から、「十分満足できた」と「おおむね満足できた」を合わせると100%になる。合同学習に参加する児童生徒ならびに担任の教員が参加して良かったと思えるよう、今後も学習内容を工夫していきたい。	A

【中・長期目標】 小規模校における合理的な学校運営と奥能登の特色を生かした学校運営と教育活動を工夫する。

重点目標	具体的取組	主担当	実現状況の達成度判断基準	集計結果	成果と今後の課題	中間評価																																													
⑤ 小規模校における校務分掌の工夫	① 各課毎に資料や簿冊の整理及び保管・管理の仕方の見直しならびに工夫を行い、誰が見てもわかりやすいように整備する。	総務課	資料や簿冊の整理及び保管・管理が A：十分できた。 B：おおむねできた。 C：あまりできなかった。 D：ほとんどできなかった。	アンケート調査の結果は以下のとおり A：0（0%） B：9（56.3%） C：5（31.2%） D：2（12.5%） A+Bの割合 56.3%	各課によってバラツキがあるが、どの課もAは一人もおらず、Bも半数程度である。今後も全職員に資料や簿冊の保管・管理をきちんと行うよう働きかけていく必要がある。 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <thead> <tr> <th></th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>教務課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>生徒指導課</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>進路指導課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保健課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>研究課</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>教育相談課</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		A	B	C	D	総務課	0	1	0	0	教務課	0	1	2	0	生徒指導課	0	2	0	0	進路指導課	0	1	1	0	保健課	0	1	1	0	研究課	0	2	0	1	教育相談課	0	1	1	1	計	0	9	5	2	C
	A	B	C	D																																															
総務課	0	1	0	0																																															
教務課	0	1	2	0																																															
生徒指導課	0	2	0	0																																															
進路指導課	0	1	1	0																																															
保健課	0	1	1	0																																															
研究課	0	2	0	1																																															
教育相談課	0	1	1	1																																															
計	0	9	5	2																																															
⑥ キャリア教育の推進	① 全校児童生徒及び保護者へ進路や就労等の情報や作業学習等の様子も含めた「進路だより」を定期的に発行する。	進路指導課	「進路だより」を A：5回以上発行した。 B：4回発行した。 C：3回発行した。 D：2回以下しか発行できなかった。	「進路だより」を4回発行した。 第1号 6月11日 第2号 7月10日 第3号 9月3日 第4号 10月1日	「進路だより」を4回発行することをおして、本校や県内の特別支援学校の進路指導や高等部卒業後の進路に関する現状を報告することができた。今後も引き続き進路に関する情報提供を行うとともに、保護者から要望があればそれに応じた記事を掲載していきたい。	B																																													
	② 進路、就労等に関して、保護者のニーズに応じたテーマを設定し、関係機関の方を講師に招いて、「進路研修会」を実施する。	進路指導課	「進路研修会」に参加して A：十分満足できた。 B：おおむね満足できた。 C：あまり満足できなかった。 D：ほとんど満足できなかった。	未実施	「卒業後の進路と生活を考える会 ～施設と学校の連携～」を12月22日（月）に実施する予定である。能登町の3施設と珠洲市の1施設ならびにハローワークの職員を講師として招聘し、全校の保護者ならびに教職員を対象に進路・就労に関する理解・啓発を図っていきたい。	未実施のため評価なし																																													